

千代田グループ CSR報告(2015年ダイジェスト)



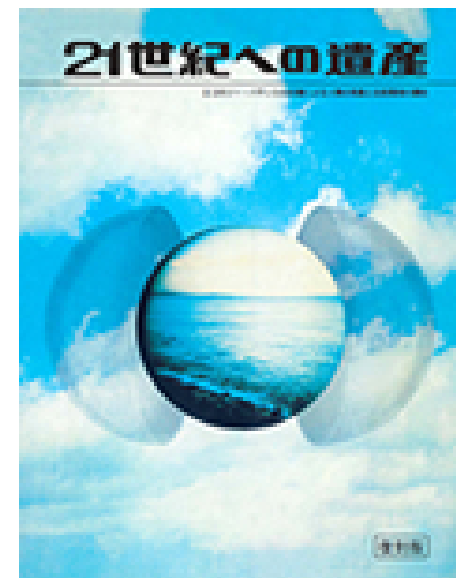
千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSRセクション



To Our Stakeholders

「千代田グループ CSR報告 (2015年ダイジェスト)」の発行について

千代田グループは、総合エンジニアリング企業として、事業の推進により社会の持続的発展に寄与することはもとより、さまざまな取り組みを継続的に推進することにより、企業価値を高め、全てのステークホルダーから信頼と共感を得る企業であり続けるよう取り組んでいます。



この取り組みを皆様に正しくご理解頂くために、事業報告書やWebサイトなどを活用して、「CSRへの取り組み」としてご報告していますが、ここに直近の活動をハイライトさせて報告させていただきます。

今後とも当報告に対する皆様からのご意見を参考にしながら、よりわかり易い報告となるよう改善を図ってまいります。

目次

1. 会社概要		3 ~ 4
2. トップメッセージ		5 ~ 6
3. 千代田グループのCSR		
3 - 1 活動推進体制		7
3 - 2 CSR Vision		8 ~ 10
4. 2014年度(2014年4月-2015年3月)の活動紹介		11
➤ CSR Vision1	信頼される企業	12 ~ 18
➤ CSR Vision2	環境への取り組み	19 ~ 23
➤ CSR Vision3	事業を通じた社会への貢献	24 ~ 32
➤ CSR Vision4	人の尊重	33 ~ 37
➤ CSR Vision5	公明正大な企業運営	38 ~ 44
補足:		
Overseas Network	海外拠点	45
主要な国内グループ企業		46
編集方針		47

1. 会社概要

社名 千代田化工建設株式会社 / CHIYODA CORPORATION

設立 1948(昭和23年)年1月20日

資本金 433億(2015年3月期)

売上高 4,810億(2015年3月期連結)

従業員数 6,097名 (グループ連結:2015年3月)

社長 澁谷 省吾 (しぶや しょうご)

業務内容 総合エンジニアリング業

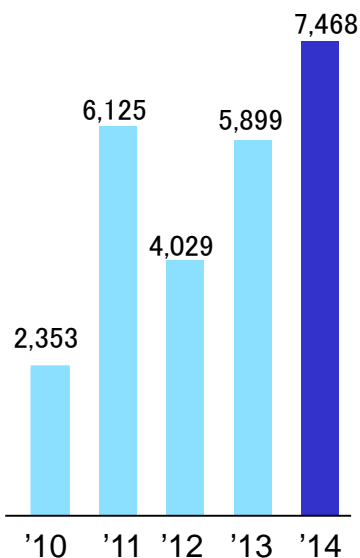
拠点 グローバル本社(みなとみらい)
子安オフィス・リサーチパーク

プロジェクト実績 世界60ヶ国以上

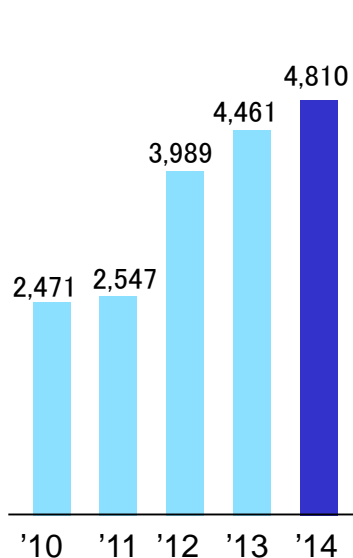


連結業績(億円)

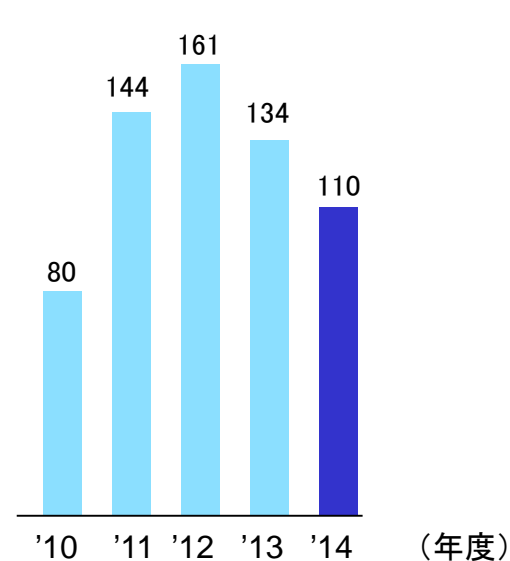
受注工事高



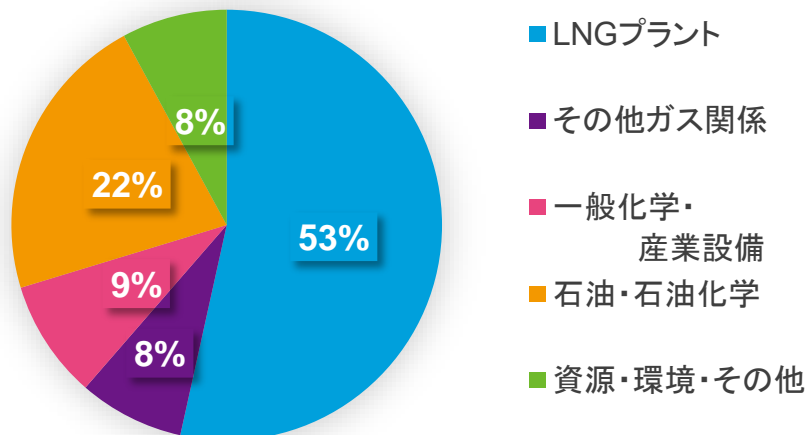
完成工事高



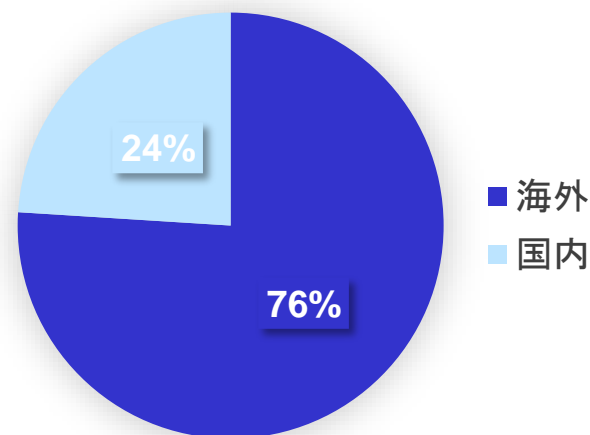
当期純利益



分野別売上高構成比(2014年度)



地域別売上高構成比(2014年度)



2. トップメッセージ (1/2)



千代田グループの経営理念の実現に向けて

【経営理念】

総合エンジニアリング企業として、英知を結集し研鑽された技術を駆使してエネルギーと環境の調和を目指して事業の充実を図り、持続可能な社会の発展に貢献する。

千代田グループの社会的責任(CSR)

当社は、創業以来、時代やその国に最先端技術を必要とするインフラを広く提供するエンジニアリング企業として、エネルギーと環境の調和を目指し、社会の発展に貢献することに努めてきました。昨今のエネルギー業界は、ガスシフトや再生可能エネルギーなどの構造変化や、シェール革命による北米市場の活性化などの環境変化が激しく、社会的な要請も多様化しています。

このような中、グループ経営理念に基づき、時代の要請を的確に把握し、貧困撲滅、環境保全、資源確保などのグローバルな課題解決に向けて社会の求める価値をエンジニアリングで提供することが、「千代田グループのCSR」であると考えています。

2012年11月、CSRのグローバルな広がりとグループの求心力を確固たるものにするために、日本の大手エンジニアリング企業を含む建設業界で初めて、「国連グローバル・コンパクト*」に参加しました。これを機に、千代田グループのCSRビジョンに「グローバル・コンパクト」の10原則を関連させながら、さらにCSR意識を浸透させて、グループ社員一人ひとりの行動につなげていきたいと考えていきます。

2. トップメッセージ (2/2)

グローバル規範の尊重・コンプライアンスの徹底

当社グループが主に事業を行っているエネルギー業界は大きな構造変化のさ中にあり、当社、グループ企業内メンバーのみならず、事業地域もビジネスパートナーもますます多様化しています。

ここで必要とされるのは、誰もが納得するフェアな規範です。その意味で、「国連グローバル・コンパクト」の人権・労働・環境・腐敗防止に関する精神を引続き支持します。

全社員に向けてこの精神を日々の活動・業務に反映することの大切さを、今後も継続して呼び掛けていきます。また、パートナー、取引先などにも国連グローバル・コンパクトの精神を反映している当社の行動規範を理解していただき、遵守に努めていただくよう働きかけていきます。特に、国内外の法規・国際的な取り決めの遵守、及び人権の尊重、ハラスメント防止、腐敗防止、情報セキュリティルール遵守などに関するコンプライアンスについては、グループ企業活動全ての透明性をさらに向上するよう注力していきます。

当社グループ全体でコンプライアンスの遵守、意識向上を図るため、従来の運営体制を拡充し、経営会議直轄組織である「コンプライアンス委員会」や「グループコンプライアンス連絡会」を設置し、社会から信頼される企業を目指し、積極的に取り組んでいます。

*国連グローバル・コンパクト(UNGC):

企業が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するためのグローバルな枠組みづくりに参加する自発的な取り組み。

人権・労働・環境・腐敗防止などに関する10原則を軸としている。

代表取締役社長

澁谷省吾

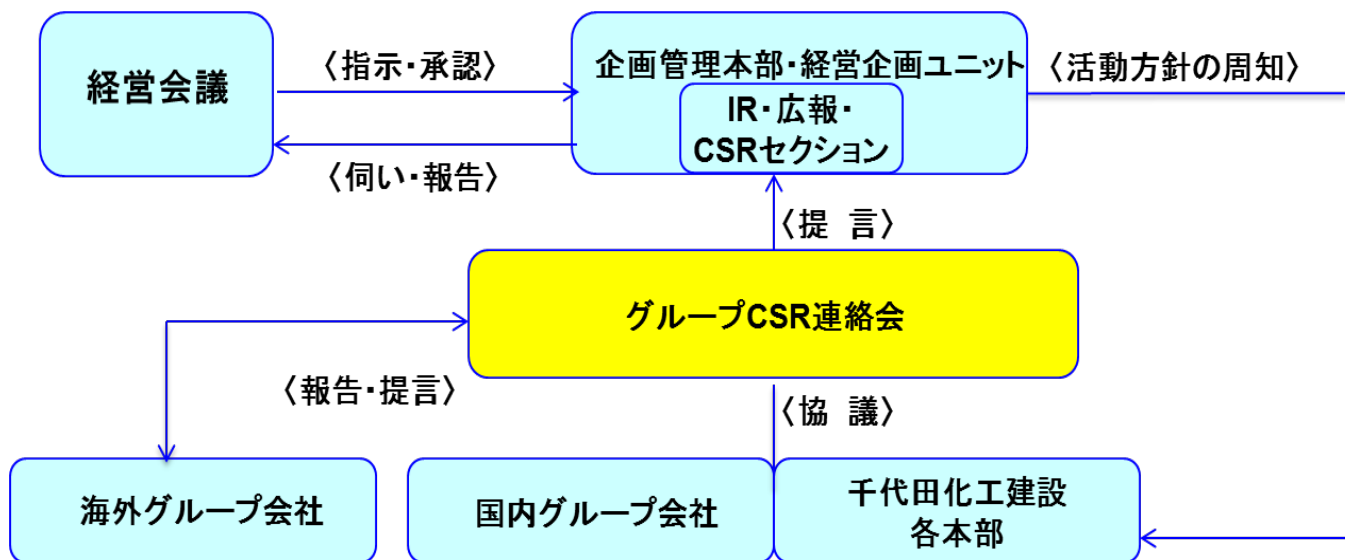


3-1. 活動推進体制

当社グループに期待される社会からの多様な要請を的確に把握し実効的に応えていくべく、2015年4月に改組し、CSRに関する業務を管理・統括する恒常組織として企画管理本部経営企画ユニット内に「IR・広報・CSRセクション」を設置しています。

国内外のグループ会社との連携を図るとともに、「グループCSR連絡会*」等も活用して、CSR活動の更なる充実に努めています。なお、CSR活動を率先して推進する制度として社内有志による「CSR推進スタッフ」の登録制度も活用しています。

また、東日本大震災による被災地への支援を事業及びボランティア派遣などを通じて継続しています。



* グループCSR連絡会とは千代田化工建設及び国内連結対象グループ会社の責任者で構成され、推進するCSR活動の適正な実施について協議することを目的とした連絡会。協議内容は以下通り。

- 1) CSR活動の年度計画策定、実績取り纏め
- 2) 社会貢献活動、環境関連
- 3) 国連グローバルコンパクトのグループ推進

3-2. CSRビジョン(1/3)

千代田グループのCSR、それは経営理念を実現することです。
「千代田グループ経営理念」は、私たちの「果たすべき使命」を示しています。そして、この使命達成のためにグループメンバー全員で「共有すべき価値観」が「CSRビジョン」です。
これらの「使命」と「価値観」をもって行動する際に、拠り所とするガイドとして、「千代田グループ行動規範」「千代田グループ役職員行動の手引き」を定めています。

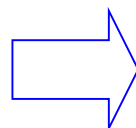
千代田グループ経営理念

総合エンジニアリング企業として、英知を結集し研鑽された技術を駆使して**エネルギーと環境の調和**を目指して事業の充実を図り、持続可能な社会の発展に貢献する。

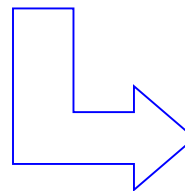
(総合エンジニアリング企業の社会的使命: 社会と環境への貢献)

千代田グループCSRビジョン

1. 信頼される企業
2. 環境への取組
3. 事業を通じた社会貢献
4. 人の尊重
5. 公明正大な企業運営



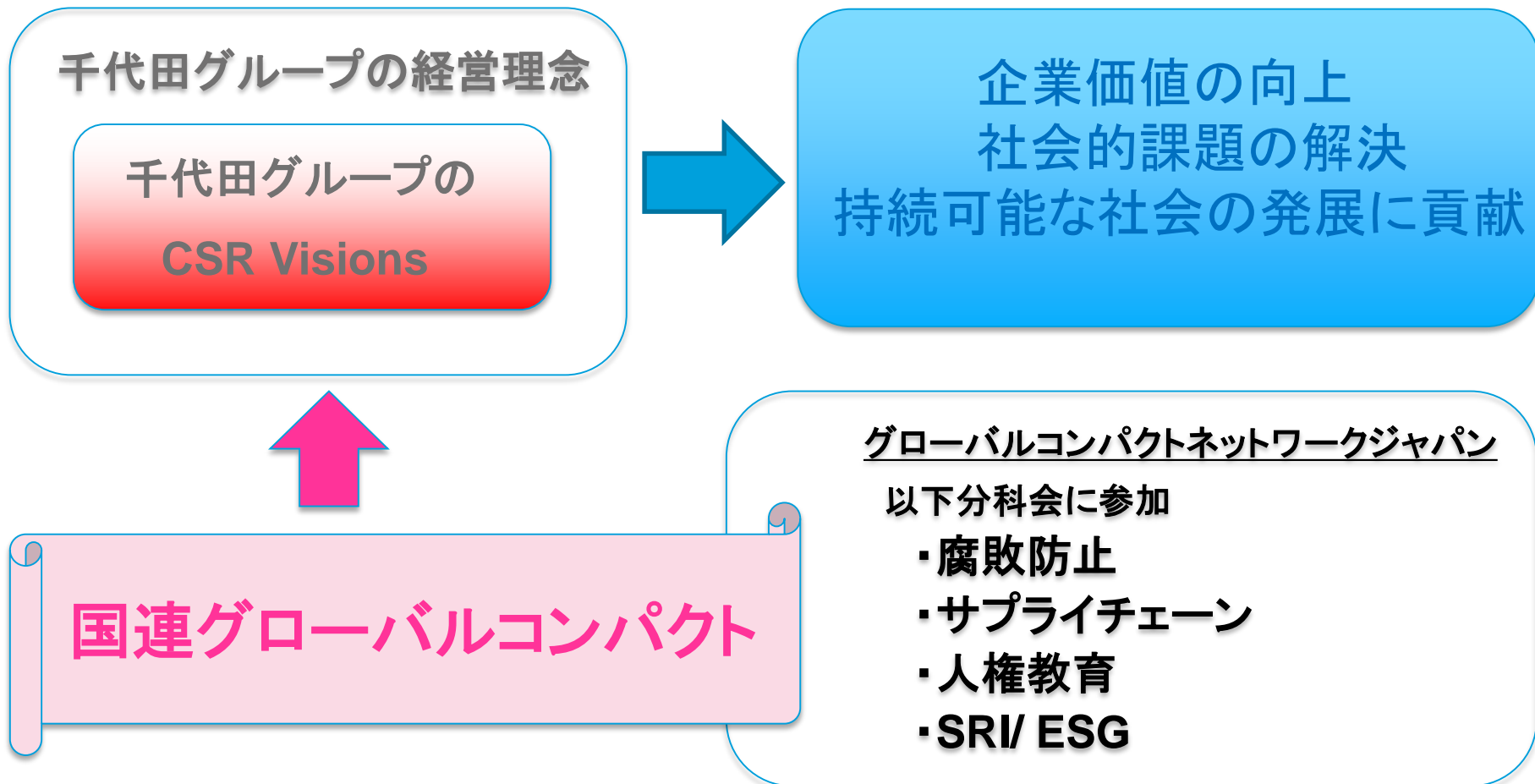
千代田グループ行動規範



千代田グループ 役職員行動の手引

3-2. CSRビジョン(2/3)

当社はCSRのグローバルな広がりとグループの求心力を確固とするために、CSRに関するグローバルな規範として知られる「国連グローバルコンパクト」に2012年11月より署名・参加し、誰もが納得するフェアでグローバルな規範に則って、人権・労働・環境・腐敗防止等、国連グローバルコンパクトを軸とした取り組みを行っています。



3-2. CSRビジョン(3/3)

<p>私たちの共有する価値観 CSR Vision</p> <p>私たち千代田グループは総合エンジニアリング企業として、事業の推進により社会の持続的発展に寄与することはもとより、以下のVisionを継続的に推進することにより企業価値を高め、全てのステークホルダーから信頼と共感を得る企業であり続けるよう努めます。</p>	<p>国際的規範への対応</p> <p>国連グローバルコンパクト</p>	<p>活動方針</p>
<p>CSR Vision 1 信頼される企業</p> <p>世界トップクラスの技術と知見の提供により、お客様をはじめ取引先から信頼され続ける企業となるよう努めます。</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 質の高いエンジニアリングの提供によりお客様の満足を得る信頼性のあるプラントの提供 ■ 協力会社などの取引先とのCSR理念の共有
<p>CSR Vision 2 環境への取組</p> <p>研鑽された技術を駆使して、地球環境と、経済・社会活動の調和を図り、社会にとってかけがえのない企業であり続けるよう努めます。</p>	<p>原則7:環境問題の予防的アプローチ 原則8:環境に対する責任のイニシアチブ 原則9:環境にやさしい技術の開発と普及</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境負荷の少ないエネルギー技術、環境保全技術の開発、提供 ■ 環境保全に寄与する企業活動
<p>CSR Vision 3 事業を通じた社会への貢献</p> <p>国内海外のエンジニアリング事業の遂行を通じ、人材育成、技術移転、環境保護等地域社会への貢献に努めます。</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業を通じた社会への貢献活動の推進 ■ 知力・労力の提供による社会貢献活動の充実
<p>CSR Vision 4 人の尊重</p> <p>全ての人々の人権を尊重します。同時に従業員の多様性、個性、人格を尊重し、従業員とその家族が誇りを持てるような働きやすく、働きがいのある企業風土作りに努めます。</p>	<p>原則1:人権侵害の指示と尊重 原則2:人権侵害への非加担 原則3:組合結成と団体交渉権の実効化 原則4:強制労働の排除 原則5:児童労働の実効的な排除 原則6:雇用と職業の差別撤廃</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 活気に溢れた組織風土づくりと人材育成の実現 ■ 「安全はコアバリュー」を全関係者へ浸透
<p>CSR Vision 5 公正正大な企業運営</p> <p>常に高い倫理観に基づいて公正な事業を営み、透明性と安全性を高めるよう努めます。</p>	<p>原則10:強要・賄賂等の腐敗防止の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンプライアンスの徹底と透明性のある企業活動 ■ リスク対応の徹底

4. 2014年度(2014年4月- 2015年3月)の活動紹介

- CSR Vision1 信頼される企業 12 ~ 18
- CSR Vision2 環境への取り組み 19 ~ 23
- CSR Vision3 事業を通じた社会への貢献 24 ~ 32
- CSR Vision4 人の尊重 33 ~ 37
- CSR Vision5 公明正大な企業運営 38 ~ 44

CSR Vision 1 信頼される企業

世界トップクラスの技術と知見の提供により、お客様を始め取引先から信頼され続ける企業を目指した当社の取り組みをご紹介します。

1. 活動方針

- 質の高いエンジニアリングの提供によりお客様の満足を得る信頼性のあるプラントの提供
- 協力会社などの取引先とのCSR理念の共有

2. 取り組み

- [品質への取り組み](#)
- [情報セキュリティの意識向上への取り組み](#)
- [お客様とともに](#)
- [お取引先とともに](#)

3. 2014年度の主な活動

- ① 顧客・取引先との技術ダイアログ
- ② 国土強靱化の仕組み作りからEPCへ
- ③ 新製造ライン構築プロジェクト ―世界初への挑戦― お客様の声
- ④ UNGCの分科会活動

CSR Vision 1 信頼される企業 - 顧客・取引先との技術ダイアログ

顧客・取引先との技術ダイアログ

当社グループは、お客さまに信頼される技術、最新の技術を提供することを心掛けています。

このため、お客様や取引先（機器・機械を製造するメーカー、建設会社、検査会社など）との対話を重視し、毎年お客様や取引先との技術ダイアログを開催し、生の声を業務に反映しています。

名称	内容	主催	開催日	参加企業
インターフェックス 2014	医薬品・化粧品などを製造・研究開発するための機器・システム・技術が一堂に会する「インターフェックスジャパン」への出展	千代田化工建設㈱ 千代田テクノエース㈱	2014年7月	製薬会社を中心に約800名の来場者
品質部内監査員レベルアップ講習会	品質マネジメント・システム運営上の重要課題である「内部監査員」養成を支援する定期講習会を開催し、顧客、協力会社のマネジメント・システム継続改善を目指す。	CUC*1&顧客共催	2014年7月	国内化学会社 設備エンジニアリング会社(30名)
北米CT121ユーザー会議 2014	当社が自社開発した排煙脱硫装置(CT-121)の北米ユーザーとの技術交流	パワーサウスエナジー社	2014年6月	CT121 北米ユーザー各社約50名
CST*2 EPM*3 ユーザーセミナー 2014	「グローバル化の中での競争力あるシステム作り」をテーマとして、Primaveraのユーザーを対象に2002年から継続的に実施。	千代田システムテクノロジーズ㈱	2014年1月	エンジニアリング会社、 建設会社 約50名
ChASフォーラム 2014	予防保全のための設備・業務の「見える化」をテーマとした技術交流会	千代田化工建設㈱ ChAS事業本部	2014年9月	30社以上の企業・団体及び 千代田グループ各社約200名
INCHEM TOKYO 2013	化学産業を中心としたプロセス産業およびプラント設備、エンジニアリングの総合展示会。アジア最大級規模で、世界各国から出展・来場があるイベントである。	千代田化工建設㈱	2013年10月	内外の化学会社を中心に 数千人規模の来場者
PM*4シンポジウム 2014	日本プロジェクトマネジメント協会が主催で1997年から続くプロジェクトマネジメントに特化したシンポジウムで1999年から毎年出展。Primavera, PRISM, Aconeの概要説明を行った。	千代田システムテクノロジーズ㈱	2014年9月	エンジニアリング系、IT系、 製造業を中心に約30名
MES*5 DAY	「法規制対応とMESソリューションの活用」がテーマ。	千代田システムテクノロジーズ㈱ 共済：ヴェルム社	2014年12月	製薬会社40社、60名

- *1 CUC: 千代田ユーテック株式会社
- *2 CST: 千代田システムテクノロジーズ株式会社
- *3 EPM: Enterprise Project Management
- *4 PM : Project Management
- *5 MES: Manufacturing Execution System

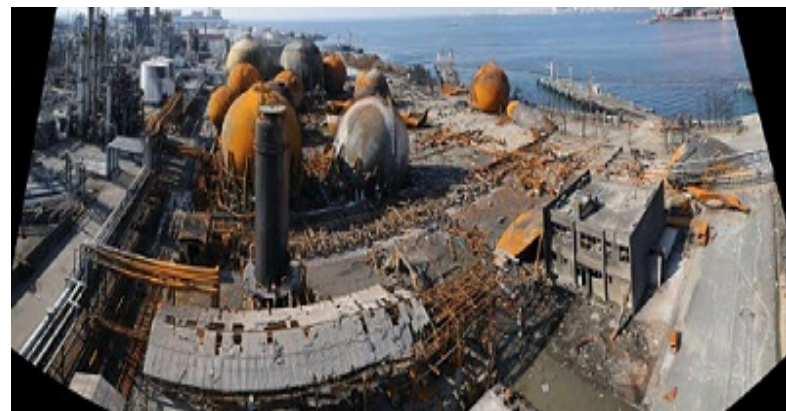
CSR Vision 1 信頼される企業 - 国土強靱化の仕組み作りからEPCへ

当社グループは、そのプラント建設事業において、設備の大型化、仕様高度化、短納期化など、日々高まるご要望に対して、質の高いエンジニアリングの提供により、お客様の満足を得られる信頼性のあるプラントを提供できるよう、さまざまな取り組みをおこなっています。

国土強靱化の仕組み作りからEPCへ

2011年に起きた東日本大震災は、東北地方に未曾有の被害をもたらしました。特にエネルギー供給関連施設が被災し東北地方のみならず日本全国のエネルギー供給に支障をきたしました。

災害対応に欠かせない交通・通信手段もマヒし、被災地の市民生活や避難所生活には大きな支障が生じ、加えて各種産業における業務支障、さらにはサプライチェーンの寸断による社会経済的影響などが大きな問題になりました。



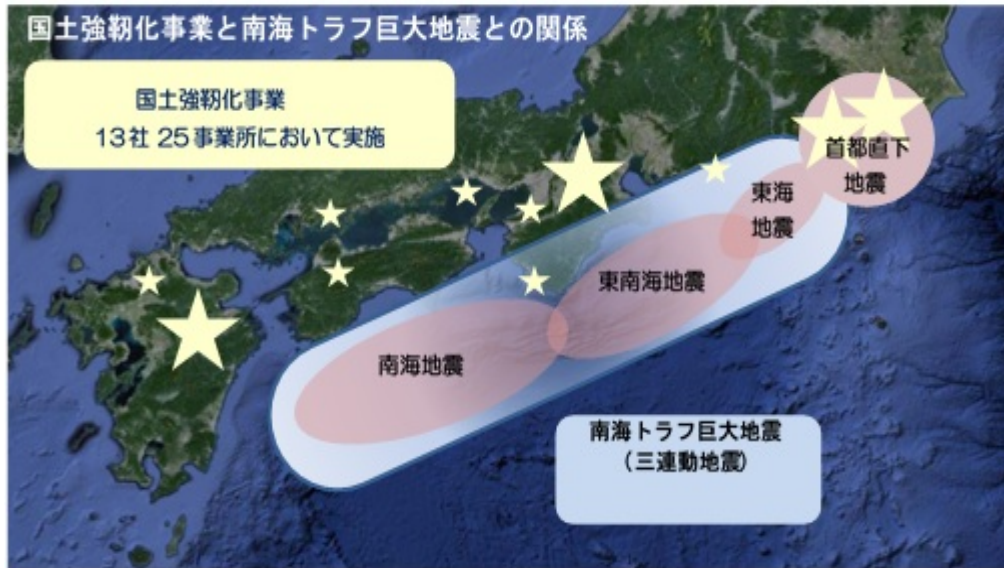
出典：消防庁HP

これらの震災の教訓から国は2014年度に国土強靱化基本法を制定しました。

その目的のひとつであるエネルギーの供給を確保するため、経済産業省は関連施設の対策、特に近い将来に発生が予想される南海トラフ大震災や首都直下地震を想定して以下3点の重要課題の確保を目指して国内の全製油所を中心に施策が実施されています。

- ・ 装置を安全に緊急停止できること
- ・ 大規模な二次災害につなげないこと
- ・ エネルギーの安定供給

CSR Vision 1 信頼される企業 - 国土強靱化の仕組み作りからEPCへ



Google 地図、経済産業省 HP 資料に加筆

阪神・淡路大震災などの過去の甚大災害の際にも、各種耐震基準の見直しなどが行われましたが、実際に稼働中の設備については、運転中の対策が求められることから、技術面やコスト面において課題が多く、着手が難しいと考えられてきました。

当社グループは、製油所をはじめとする各種設備を手がけた経験と培ったノウハウを駆使して、お客様の事業継続、地域住民の安心、ひいては日本経済の発展の一助を担うべく、さまざまなニーズに適応した提案を行っています。

既設設備の耐震診断、対策提案に取り組み、耐震性のシミュレーションに留まらず、エンジニアリング会社の知識と強みを最大限に活かした、地震や津波による被災後の早期復旧にむけた対策をご提案してまいりました。この経験を活かし、当社は国の展開する耐震調査の取組みに企画段階から協力し、経済産業省や有識者と共に耐震診断、耐震対策の立案に関するマニュアル、シナリオを作成いたしました。当社グループは、今後ともエンジニアリング会社の知識と強みを最大限に活かして、早期の災復旧と安定したエネルギー確保を目指して取り組んでまいります。

新製造ライン構築プロジェクト - 世界初への挑戦 -

2014年8月エイワイファーマ殿*の主力生産拠点である静岡県大井川工場内に、新たな輸液の製造ラインが誕生いたしました。

世界初となるスタンディングバッグ(2015年グッドデザイン賞を受賞)を採用した輸液製剤製造ラインです。

高品質で使いやすい輸液製剤を追い求めるエイワイファーマ殿の新たな挑戦をバックアップするため、当社の多彩な医薬品エンジニアリング技術を結集し、お客様の「一滴の思い、ずっとめぐる」を実現化いたしました。当社グループは今後も高品質の医薬品製造設備のエンジニアリングを通じて、信頼と安全を得られるNO1企業を目指し社会へ貢献してまいります。

* エイワイファーマ殿は、味の素製薬(株)と(株)陽進堂との出資会社です。



お客様の声

エイワイファーマ株式会社
静岡事業所長 石原 修 様

エイワイファーマ(株)は高品質な輸液製剤を安定的に供給することで、医療現場に貢献してまいりました。従来、輸液はガラス瓶からはじまりプラスチック製ボトルやバックに充填されておりましたが、正確さとスピードが求められる医療現場のニーズに応えるため、世界初となるスタンディングバッグの輸液を開発いたしました。千代田グループ様には設計や工事中に生じた様々な変更迅速かつ柔軟な発想で対応してもらいました。ハード面のみならず、ものを作る作業者の目線まで創造力を膨らませた設計はまさにエンジニアリングの真髄といえます。

私の持論ですが、発注側(実際に設備を使う人)と設備設計側(エンジニアリング)が良好な関係で造った設備は、実際に使うことにより進化していけるものだと考えています。それは、お互いの意思が共有できているからだと思います。

千代田グループ様とは信頼関係を構築することでお互いの持つ技術力を集結することができました。

千代田グループ様の技術者の皆様のおかげで世界初のスタンディングバッグを無事に患者様に届けることができます。皆様の強い意志に感謝しております。ぜひ、次もまた一緒に仕事をしたいと思える技術者集団であると思います。どうもありがとうございました。

国連グローバル・コンパクトの活動

当社グループは、2012年11月に「国連グローバル・コンパクト」に賛同・支持を表明しCSR活動の推進・強化を図っています。平成26年度の活動は、腐敗防止分科会、サプライチェーン分科会への参加や、日中韓ラウンドテーブルで語学スタッフとして協力しました。腐敗防止分科会では毎月1回、参加各社における実効性ある腐敗防止策について議論し、適切な防止策の検討、研究を行いました。腐敗は組織の有効性及び倫理的評価を損ない、民事及び行政処分・刑事訴追等に至る可能性もあるリスクです。

サプライチェーン分科会では、バイヤーとサプライヤーが協働して環境・労働環境・人権などに配慮したCSR調達を推進すべく、月次の勉強会への出席や専門家を招いての講演会に参加しました。

日中韓ラウンドテーブルでは低炭素社会の実現に向けた企業の取り組みの重要性、CSR調達を通じたステークホルダーエンゲージメントの重要性が紹介され、当社の更なる活動強化の必要性を認識させられました。



日中韓ラウンドテーブル

CSR Vision 2 環境への取り組み

研鑽された技術を駆使して、地球環境と経済・社会生活の調和を図り、社会にとってかけがえのない企業であるための取り組みをご紹介します。

1. 活動方針

- 環境負荷の少ないエネルギー技術、環境保全技術の開発、提供
- 環境保全に寄与する企業活動

2. 取り組み

- [環境マネジメントシステムについて\(EMS\)](#)
- [環境保全活動について](#)
- [低炭素社会実現に向けた取り組み](#)
- [千代田グループの国内・海外での環境活動](#)
- [生物多様性への取り組み](#)
- [環境データ](#)

3. 2014年度の主な活動

- ① 千代田の環境技術開発
- ② 千代田グループの国内・海外での環境活動
- ③ 社内での取り組み/森林再生への取り組み

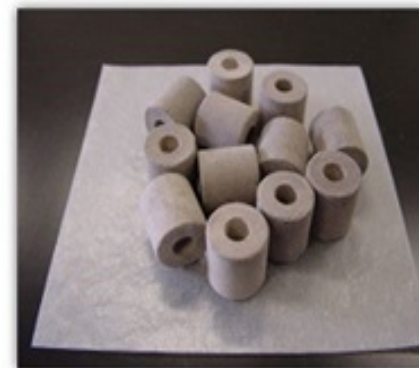
4. マテリアルフロー

CO₂リフォーミング(CT-CO₂ AR[®])触媒納入

当社はCO₂有効利用を目指して高効率CO₂リフォーミング技術(CT-CO₂ AR[®])を自社開発し、手始めに新触媒を納入した既存化学製品向け合成ガス製造設備では順調に安定運転を続けています。既設合成ガス製造設備に対してカーボン析出耐性に優れたCT-CO₂ AR[®]触媒を導入することにより、従来よりも高効率な合成ガス製造が可能となり、原単位として約1割相当のエネルギー消費量削減を達成し、二酸化炭素排出量も大幅に低減されています。

CT-CO₂ AR[®]は既設プラントの触媒を交換するだけで上述のごとくエネルギー削減を行うことができますが、本技術を活用する新設プラントの設計・建設を行い、本技術の特性を最大限に活かした運転をすることによって、さらに二酸化炭素排出量を削減することが可能です。

また、設備負荷低減による装置の小型化(材料資源低減)や天然ガスに含まれる二酸化炭素の有効利用なども期待できます。今後もオキソアルコール、酢酸製造などへ幅広く適用展開を行うことで環境負荷の大幅低減を目指します。



CO₂リフォーミング触媒

新規省エネルギー型プロピレン製造プロセスの開発

現在、重要な基礎化学品であるプロピレンの約60%は、ナフサ等のスチームクラッキング法で製造されていますが、この既存法はプロピレンの生成効率が低く、エネルギー消費量が大きいため、これを代替する製造法の確立が強く望まれています。当社では、触媒を用いた接触分解法による軽質炭化水素原料からの効率的プロピレン製造技術の開発を実施しております。

従来技術と比べて、高オレフィン選択性/高耐久性/低エネルギー消費(60%強削減)等の優れた特性を持つ独自開発のゼオライト触媒を用いることによって、未だ実用化に成功していない固定床型接触分解法による効率的プロピレン製造が可能となります。その研究成果は社外でも高い評価を受けており、2014 AIChE Spring MeetingにおいてBest Paper Awardを受賞しました。

当社は、化学産業における省エネルギー化と排出CO₂の削減に寄与すべく、本プロセスの早期商業化を目指して開発を進めており、今後は、シェールガスやシェールオイル等の非在来型化石資源の利用等も検討することで、石油化学分野へ展開してまいります。



Best Paper Award

CSR Vision 2 環境への取り組み

- 千代田グループの国内・海外での環境活動

海外:千代田フィリピン・コーポレーション

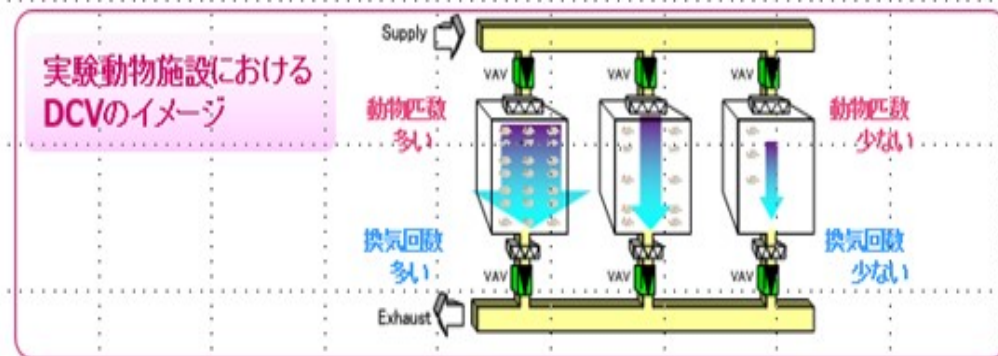
CPhは地域への環境貢献活動の一環として、150本以上の苗木を植えることを新たに目標に掲げました。2014年4月に実施した活動には、役員をはじめ65人の従業員が参加し、お互いの友情、連帯を深めることにも役立ちました。

国内:千代田テクノエース

実験動物施設が抱える重要な課題の一つは省エネルギーの促進です。膨大なエネルギー消費の要因は、①24時間空調を稼働させる必要があること、②室内空気質(恒温/恒圧、クリーン度、汚染物質希釈)への厳しい要求、③大量の外気取り入れ量(換気回数)の3つです。

これらの問題を解決する手段として、千代田テクノエースは、下図イメージ図に示すデマンド・コントロールベンチレーション(DCV)を導入しました。

動物の数またはその他の室内空気質の要件に応じて、最適な換気回数を決定することにより、エネルギーを削減できる画期的な手法です。いくつかのフィールドテストを通じて、この空調システムが有効に動作することも検証しています。



CSR Vision 2 環境への取り組み

- 事業活動に伴うマテリアルフロー (2014年度)

※1 グリーン調達: 環境に配慮した機器・資材を優先して調達すること。

グリーン調達※1

再資源化施設



中間処理施設

国内建設現場

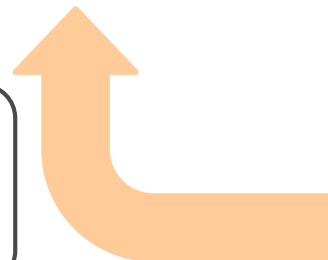
リサイクル率
(汚泥以外).....92%

オフィス

リサイクル率.....95.8%

最終処分場

最終処分量
(汚泥・焼却灰以外)
.....1,435トン



INPUT					
オフィス		国内建設現場			
電力.....	1,169万kWh	電力.....	51万kWh	アスファルトコンクリート.....	1.1万トン
水道.....	1.4万kl	工事用水.....	0.3万m ³	鉄筋・鉄骨・鋼材.....	1.5万トン
ガス.....	12.9万m ³	生活用水.....	0.3万m ³		
紙.....	128トン	軽油.....	1,273kl		
		灯油.....	7kl		
		生コンクリート.....	8万トン		

事業活動
(EPC活動※2、オフィス活動、研究開発活動)



※2 EPC活動: 設計・調達・建設活動

直江津LNG基地

OUTPUT	
国内建設現場	
温室効果ガス (CO ₂ のみ)	
SCOPE1	3,310 トン
SCOPE2	281 トン
化学物質.....	12.2トン
産業廃棄物 (汚泥以外).....	
19,209トン	
オフィス	
温室効果ガス (CO ₂ のみ)	
SCOPE2.....	6,500トン
全廃棄物.....	247トン

CSR Vision 3 事業を通じた社会への貢献

当社グループ事業の遂行を通じた、人材育成、技術移転、環境保障などの地域社会への貢献についてご紹介します。

1. 活動方針

- ・ 事業を通じた社会への貢献活動の推進
- ・ 知力・労力の提供による社会貢献活動の充実

2. 取り組み

- ・ [事業を通じた地域 貢献活動](#)
- ・ [人材育成としての社会貢献活動](#)
- ・ [募金・寄付活動](#)

3. 2014年度の主な活動報告

- ① Engineer トレーニング
- ② 2014年度の国内での主な社会貢献活動
 - 東日本大震災復興支援
 - 横浜市社会福祉協議会との連携 /募金・寄付活動
 - クリーンキャンペーン/環境授業・人材育成
 - 海外での主な社会貢献活動

CSR Vision 3 事業を通じた社会への貢献

- Engineer トレーニング: 研修生の受け入れ

当社は1976年以来、中東諸国を中心に4,100名の学生やエンジニアを研修生として受け入れてきました。2014年度は、モザンビーク、カタール、サウジアラビアおよびアラブ首長国連邦(UAE)から延べ34名のエンジニアや学生を受け入れ、プロジェクトエンジニアリングに係る研修を実施しました。近年資源国では自国民の人材育成を優先施策とする動きとともに研修のニーズがますます高まっています。上記研修の実施により、そのようなニーズに応えるとともに、研修生は、日本の文化や習慣にも触れることで、日本への理解を深めてくれたものと思います。当社は、日本と各国の友好関係がさらに強化されることを期待し、今後もこうした人材育成に継続的に取り組んでいきます。

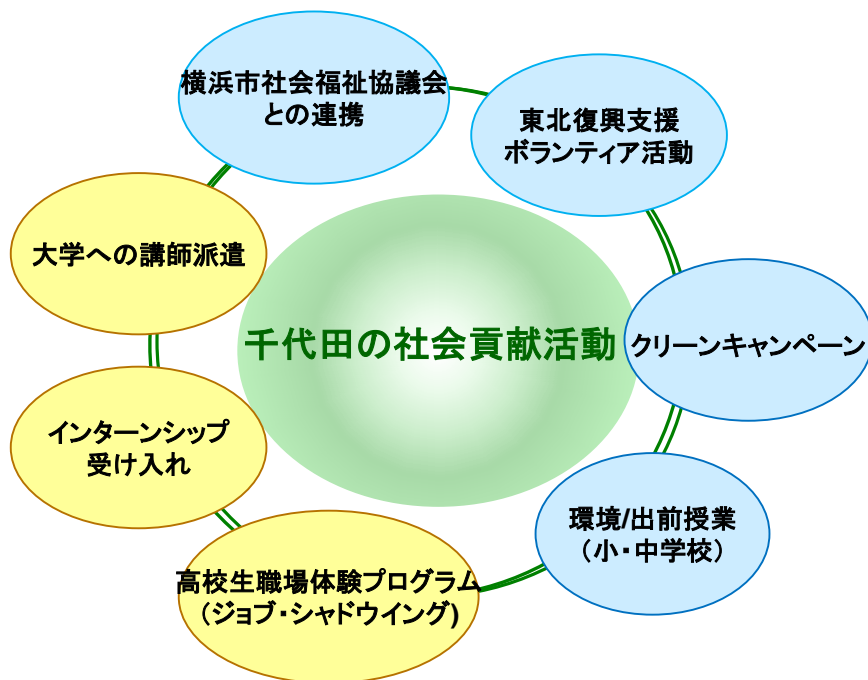


モザンビーク研修生の歓送会

CSR Vision 3 事業を通じた社会への貢献

- 2014年度の国内での主な社会貢献活動

当社グループは「全員参加型のCSR」をモットーに社員による地域社会への貢献活動を支援しており、東日本大震災被災地には2012年度より岩手県沿岸部(大槌町、釜石市、陸前高田市)へ従業員ボランティアを毎年2回派遣しています。当年度は、幼稚園生との環境授業を通じた交流、森林再生整備、エネルギー循環型コミュニティ整備、物産品の作業場兼復興ツーリズムの受入れ施設の建設等支援を行うとともに、ここでの物産品の社内販売も続けています。また、仙台市の中学校からの学生のキャリア開発の要請に応じて、出前授業と修学旅行生の受け入れを続けています。これらの活動にあたり、地元受入れ団体とのワークショップでの意見交換や、参加ボランティアメンバーによるアンケート等も行い、より良い活動を継続していくことに努めています。



大学教育への協力(講師派遣)	16名
インターンシップ学生の研修	67名
出前授業 (インターンシップ以外の職場見学を含む)	7回
地域清掃活動	延べ 32名
食料支援活動 (TABLE FOR TWO)	延べ 1817食
エコキャップ運動	221,709個 (ワクチン257.8人分)
被災地支援活動	・現地派遣 延べ37名 ・物産品社内販売会12回
その他の地域 貢献活動	・日フィル第九演奏会視覚 障がい者招待 ・セカンドハーベストジャパン への食品寄贈 ・フードバンク山梨への食品 寄贈 ・鶴見区地域作業所製作 社内販売会開催 ・神奈川区地域作業所製作品 社内販売会開催 6回

CSR Vision 3 事業を通じた社会への貢献

- 東日本大震災復興支援

◆ 派遣場所

- 大槌町(岩手県) おらが大槌夢広場
- 釜石市(岩手県) 釜石森林組合・吉里吉里国・ユナイテッドグリーン

◆ 派遣時期

2012年11月より2015年5月まで
年2回20名～30名程度で訪問。

2015年度より8名程度で年6回訪問。

◆ 主な活動内容

現地で活動している団体のお手伝い・応援

◆ みなとみらいでの復興支援サポート活動

- 有志発足の「ゆべし会」による販売会
長洞元気村で作ったゆべしや、現地の海産物や野菜などを
CGHオフィスと子安オフィスで毎月1回販売しています。

- 長洞元気村から事務局長
やなでしこ会の方をお招き
して講話を開催しました。



日本フィル第9コンサートへの視覚障がい者招待('14.12月)



感謝状贈呈式

ハートメイド販売会(隔月開催)

障がい者地域作業所で製作されたクッキー、ケーキ、プリン、雑貨類の販売



ユニセフ外国コイン募金

ワクチンで助かる
ちいさな命、
1日4000人。

ペットボトルのキャップを回収し、エコキャップに生まれ変わります。

ペットボトルキャップを回収し、エコキャップに生まれ変わります。

エコキャップを回収し、ワクチン購入に役立ちます。

ワクチン購入に役立ちます。

ワクチン購入に役立ちます。

ペットボトルキャップ回収に関するお問い合わせはこちらまで

特定非営利活動法人 ともにあゆむ
〒245-0018 神奈川県横浜市長谷区上飯田町2198-1
お問合せ 045-893-8081

途上国の子供たちへのサポートプログラムへの参画

・ Table for Two
子安オフィス・リサーチパークの食堂ではTABLE FOR TWO活動を実施して開発途上国の児童を支援しています。メニュー1食につき20円が寄付されます。2014年度は延べ1,817食分の寄付を行いました。

・ Eco cap campaign
途上国の子供たちのワクチン購入に、ペットボトルのキャップ(エコキャップ)が役立てられています。エコキャップ860個でポリオ・ワクチン1人分が購入可能です。2013年12月より、社員有志がエコキャップ収集箱を設置して収集を行っており、2014年8月より全社的に推進しています。2014年度は計231人分に相当するワクチン購入が可能となりました。

CGHオフィス、子安オフィス周辺の
清掃活動



高校生への人材育成プログラムの実施（'15.8月）



高校生への出前授業の実施（'15.11月）

CSR Vision 3 事業を通じた社会への貢献

- 海外での主な社会貢献活動 タイ/インド

タイでの小学校への学用品の寄付



本の寄付も行いました。



インドでの献血活動



旧オフィスで使用していた家具を警察等に寄付し感謝状を受領。

CSR Vision 3 事業を通じた社会への貢献

- 海外での主な社会貢献活動 ミャンマー/シンガポール/マレーシア

ミャンマーでは子供たちを強烈な日差しから守るため傘を寄付しました。



マレーシアでは、地元の孤児院にシーツなどを寄付しました。



This is the sight that greets you when you enter the CRC room.

Suggestion Box

Do drop in any suggestions that you may have. All your suggestions will be held in strictest of confidence.

FoodBank Box

Do fill up the item checklist that is pasted on the top of the FoodBank Box. The details required are item/description, quantity, expiry date and name of donor (optional).

Thank you!

Best Regards,
CRC Committee

シンガポールでのBank Boxの設置

フードバンク・シンガポールの活動を支援すべく、会社に同バンクからのBank Boxを置きました。多くの従業員はここに開封しなかった食べ物(賞味期限切れ前のもの)等を入れ、8月には一杯となったBoxをフードバンク・シンガポールへ返却し、謝辞を受けました。同バンクはこの食料を恵まれない人々へ供与する仕組みとなっています。

Chiyoda Almana Engineering LLC (Qatar) のビーチクリーンキャンペーン

(カタール地元紙に千代田アルマナの取り組みが掲載されました)



TOGETHER: The Chiyoda Almana group poses for a picture before the beach cleaning.

Chiyoda Almana conducts annual beach cleaning

CSR Vision 4 人を尊重する取り組み

ステークホルダーから信頼される、働きがいのある企業風土づくりや労働安全衛生などの当社の取り組みをご紹介します。

1. 活動方針

- ・ 活気に溢れた組織風土づくりと人材育成の実現
- ・ 「安全はコアバリュー」の全関係者への浸透

2. 取り組み

- ・ [人材開発と職場環境](#)
- ・ [労働安全衛生教育](#)
- ・ [危機管理](#)
- ・ [国内・海外グループ会社の活動](#)

3. 2014年度の主な活動報告

- ① 現場実践の全社共有による安全文化醸成
- ② 労働安全衛生教育
- ③ HSEマネジメントシステム:建設現場の度数率と強度率表
- ④ 国内・海外グループ会社の活動実績

「私たちはSQE活動を通じて世界で最も信頼される企業を目指します」

CSR Vision 4 人を尊重する取り組み

- 現場実践の全社共有による安全文化醸成

当社グループのCSR中期活動方針の一つとして「安全はコアバリューの全関係者への浸透」を掲げています。この意識が全従業員の定着するような取り組みを続けています。

当社は、安全・品質・環境に関する社内外の知識・知見を全社が共有する場として「全社SQE大会」を活用してきました。昨年11月に開催した第7回大会では「現場実践の全社共有による安全文化醸成」をテーマに取り上げました。

当社史上で新記録となる無災害6,500万時間を達成したパプアニューギニア国のLNGプラント建設現場において実践された安全活動を「作業員と現場監督との胸襟を開いたフレンドリーな対話」のデモンストレーション等で判りやすく紹介することにより、現場従事者・非従事者、役員・職員の区別なく参加者全員が共有できました。

その数は500名を超え、事務局が予定していた大講堂に入りきらず二部屋に分かれる程に熱気が溢れ出た大会になりました。当社は「安全は我々のコアバリュー」を謳っておりますが、まさにその事を全社で一緒に体感することによって、安全文化を醸成し意識の中に更に深く根付かせるよう、努力を続けています。



CSR Vision 4 人を尊重する取り組み - 労働安全衛生教育

■ 建設現場赴任前の安全衛生教育

・ 監督者

「初級安全衛生環境管理講習会」(労働安全衛生法に基づく監督者への教育)の受講義務付け及び「現場赴任前教育」を実施しています。

2014年度実績は、「初級安全衛生環境管理講習会」は5回実施し、132名受講。「現場赴任前教育」は75回実施し、233名が受講。

・ 現場管理者

「上級安全衛生環境管理講習会」(統括安全衛生責任者教育)の受講の義務付け及び現場所長と安全担当部署との「現場赴任前協議」を実施しています。

2014年度実績は、「上級安全衛生環境管理講習会」は2回実施し、64名受講。「現場赴任前協議」は24回実施。



■ 建設現場における安全衛生教育

当社グループでは、国内・海外を問わず、現場で働くすべての人に対して「新入構者教育」を行うとともに危険有害作業従事者を対象とした「安全特別教育」を実施しています。

また、作業開始前のツール・ボックス・ミーティング* KYK(K:危険、Y:予知、K:活動)を実施しています。KYKでは独自の危険度評価シートを使用して作業者を交えてその日その日の作業の危険防止について確認します。

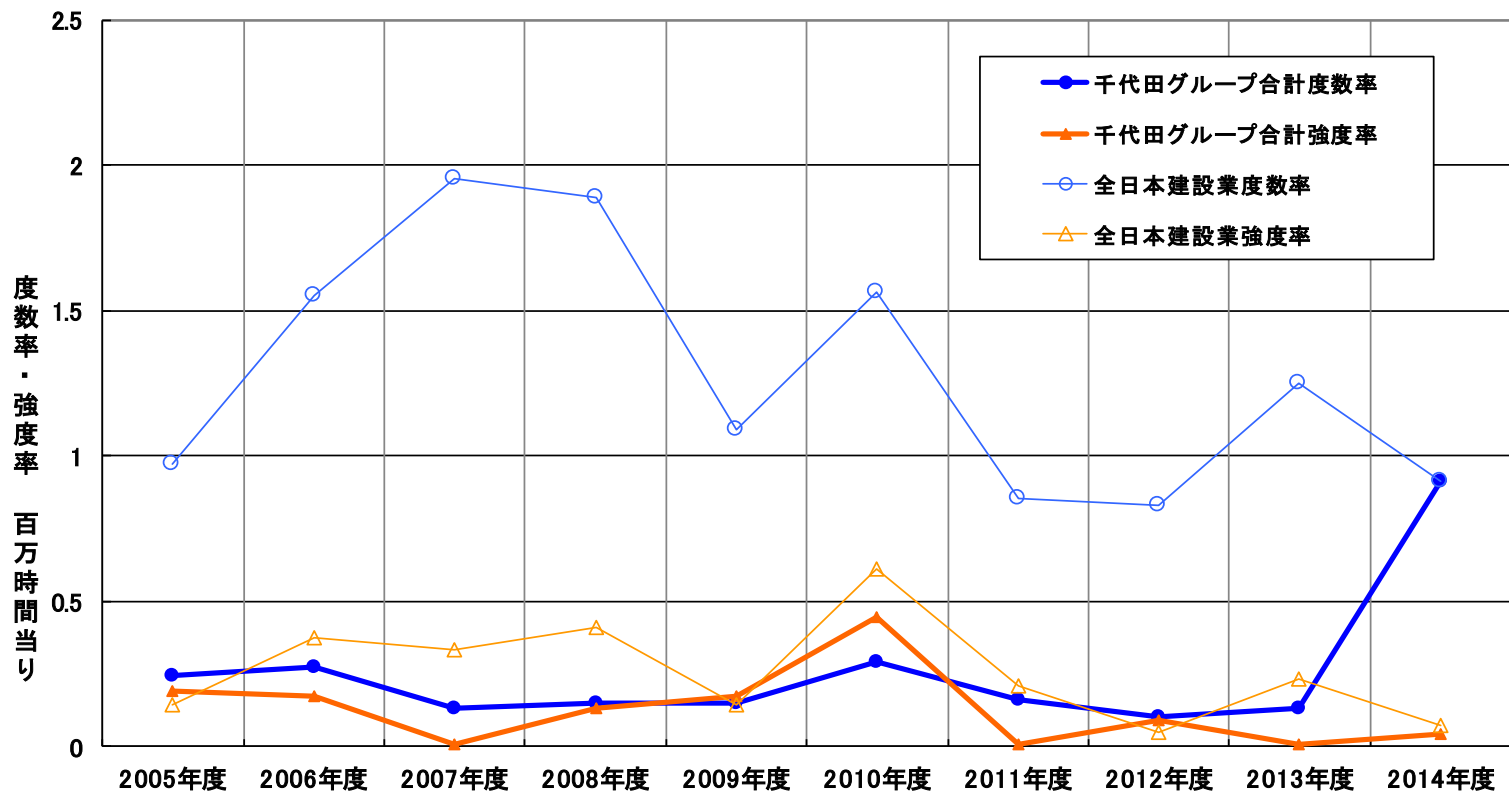
* ツール・ボックス・ミーティング: 作業グループごとに行う安全確認のための打ち合わせ

CSR Vision 4 人を尊重する取り組み

- HSEマネジメントシステム:建設現場の度数率と強度率表

労働安全については、OHSAS18001の認証を取得し、HSEマネジメントシステムを運用しています。年度毎に「全社HSE*1目標」を設定し、2015年度目標(国内プロジェクト)は、不休災害を含めた災害発生率TRIR*2 0.5未満としています。2014年度実績値は、下図、「建設現場の度数率と強度率」に示します。

建設現場の度数率と強度率／全日本建設業との比較(2005～2014年度)



*1 HSE: Health, Safety and Environment

*2 TRIR: Total Recordable Injury & Illness Rate (OSHA: Occupational Safety & Health Administration, U.S.A.規格に準じる)

CSR Vision 4 人を尊重する取り組み

- 海外グループ会社の活動例 マレーシア/インド

千代田マレーシア・センドリアンベルハッダ(CMSB)

CMSBは従業員の健康に対する認識を深めるために、半日コースの“Health Talk”を開催しました。心臓病やガンに関する予防をテーマにクアラルンプール市内の病院で行いました。また2日間の応急手当のコースも開催しました。従業員の職場や、現場での緊急時の応急処置に備えております。



エル・アンド・ティー・千代田リミティッド(L&TC)

国際婦人デーのお祝い



国際女性デーは、毎年3月8日世界中で祝われています。これは女性が行った経済、政治、社会的発展への寄与に加えて、女性であること及び不屈の精神に敬意を表する日です。「女性の力が大いに発揮できる時、それは全ての人の未来につながる。」と言われております。L&TCは女性従業員へ敬意を表すべく、今回もこの機会を祝うとともに記念撮影を行いました。

CSR Vision 5 公明正大な企業運営

常に高い倫理観に基づいて公正な事業を営み、透明性と安全性と高めるための取り組みをご紹介します。

1. 活動報告

- ・ コンプライアンスの徹底と透明性のある企業活動
- ・ リスク対応の徹底

2. 取り組み

- ・ [コンプライアンスへの取り組み](#)
- ・ [リスクマネジメントについて](#)
- ・ [安全保障貿易管理について](#)
- ・ [コーポレートガバナンス](#)

3. 2014年度の主な取り組み

- ① コンプライアンスへの取り組みの強化
- ② リスクマネジメント基本方針の策定
- ③ BCP(Business Continuity Plan: 事業継続計画)の策定
- ④ 2014年度の研修実績／相談・通報制度利用実績
- ⑤ コーポレートガバナンス

モニタリング(監査)の実施

当社グループでは、コンプライアンスに関する取組の実施・実効性について、定期的にモニタリングを実施し、不足している場合は適宜改善を行っております。建設業法、下請法、不正競争防止法(外国公務員贈賄防止)、独占禁止法(談合防止)、などを中心にモニタリング(監査)を実施しております。

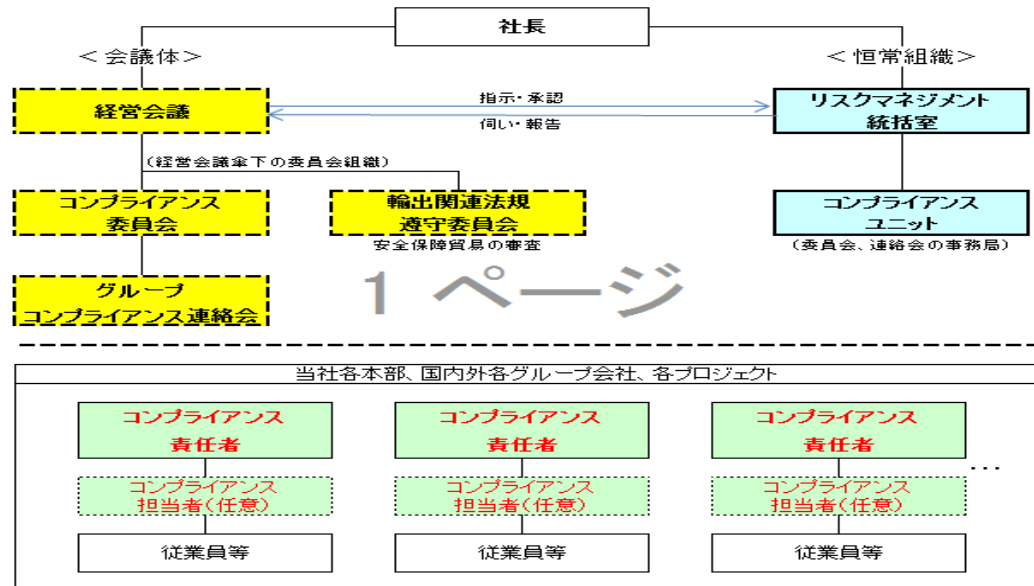
コンプライアンス推進部署である「コンプライアンスユニット」と別に、独立組織「業務監査ユニット」もモニタリング(監査)を実施し、実効性を高めるよう努めています。



コンプライアンス体制

当社グループのコンプライアンスを推進する体制は、常設の機関であるコンプライアンスユニットに加え、グループ全体のコンプライアンス関連事項を審議し、推進していくための「コンプライアンス委員会」とその傘下に「グループコンプライアンス連絡会」を設置しています。

また、各本部・グループ会社・プロジェクトで「コンプライアンス責任者」を任命し、コンプライアンス関連施策の推進を行います。



当社グループでは、リスクマネジメント活動を経営戦略の策定・実行とともに、企業価値を保護・向上させるための重要な活動と位置付けております。

リスクマネジメント基本方針を「リスク情報を適切に社会に開示し、事業経営の透明度を高め、リスクに対して事前に対策を進めて予想されるリスクを低減し、事業目的の達成を図ること」とし、リスクマネジメントの目的・行動指針を以下の通り策定いたしました。

リスクマネジメントの目的

- ◆ 企業価値を高めること
- ◆ 企業資産を保全すること
- ◆ 事業を継続すること
- ◆ 株主、顧客、社員等のステークホルダーの信頼を得ること
- ◆ 安全を優先し、安全を実現させる安全健康文化の浸透を図ること

リスクマネジメントの行動指針

- ◆ リスク情報は迅速に報告し、関係者で共有すること
- ◆ 役職員各人がリスクを管理する意識を十分に持ち、努力すること
- ◆ あらゆる事故は予防できるとの意識をもって日頃から業務遂行に努めること
- ◆ リスク = 会社の収益に影響を与える不確実性と定義し、全社的な視線で合理的かつ最適な方法でリスクを管理してリターンが最大となり企業価値が高まるようにマネジメントを推進していくこと

当社グループでは、事業遂行上のリスクに加えて火災・大地震や情報漏洩、コンプライアンス、海外でのテロなどへの危機管理対応に向け、BCPを策定いたしました。

BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)とは、事業中断の原因となるさまざまなリスクを想定し、これらを未然に回避し、あるいは被害を受けても速やかに復旧される為の方針や行動手順を定めたものです。

当社グループでは、「火災・地震などの自然災害」、「新型インフルエンザなどの疫病」、「テロ・紛争などの政治的な要因」など当社グループに対して重大な影響を与える災害が発生し「事業継続を脅かす事態と判断する場合」には速やかにBCPを発動して、「人命第一」を基本理念に重要業務の最低限の継続を図り、事業の早期復旧に向けて取り組むと共に、被災した地域の復旧・復興支援を行い地域社会に貢献してまいります。

コンプライアンス関連			
研修	海外赴任前研修		147名
	国内出張所長赴任前研修		24カ所
	幹部職向け研修		143名
セミナー(外部講師)	インサイダーセミナー		65名
	建設業法セミナー		70名
	贈収賄セミナー		129名
短信発行	コンプライアンス短信		10回発行
安全保障貿易管理関連			
全社通達	安全保障貿易管理研修		173名/6回
分野別研修	輸出管理業務研修		77名/3回
CSR総合			
新入社員研修	CSR、コンプライアンス、 輸出管理研修		11名
キャリア採用者研修	CSR、コンプライアンス、 輸出管理研修		23名

当社は、当社及び当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資することを目的とし、当社のコーポレートガバナンスに関する基本的な考え方および基本方針を定めるものとして、2015年10月23日付で、「千代田化工建設 コーポレートガバナンス・ポリシー」を策定するなど、経営の透明性・健全性の維持に積極的に取り組んでいます。

- **コーポレートガバナンス体制**

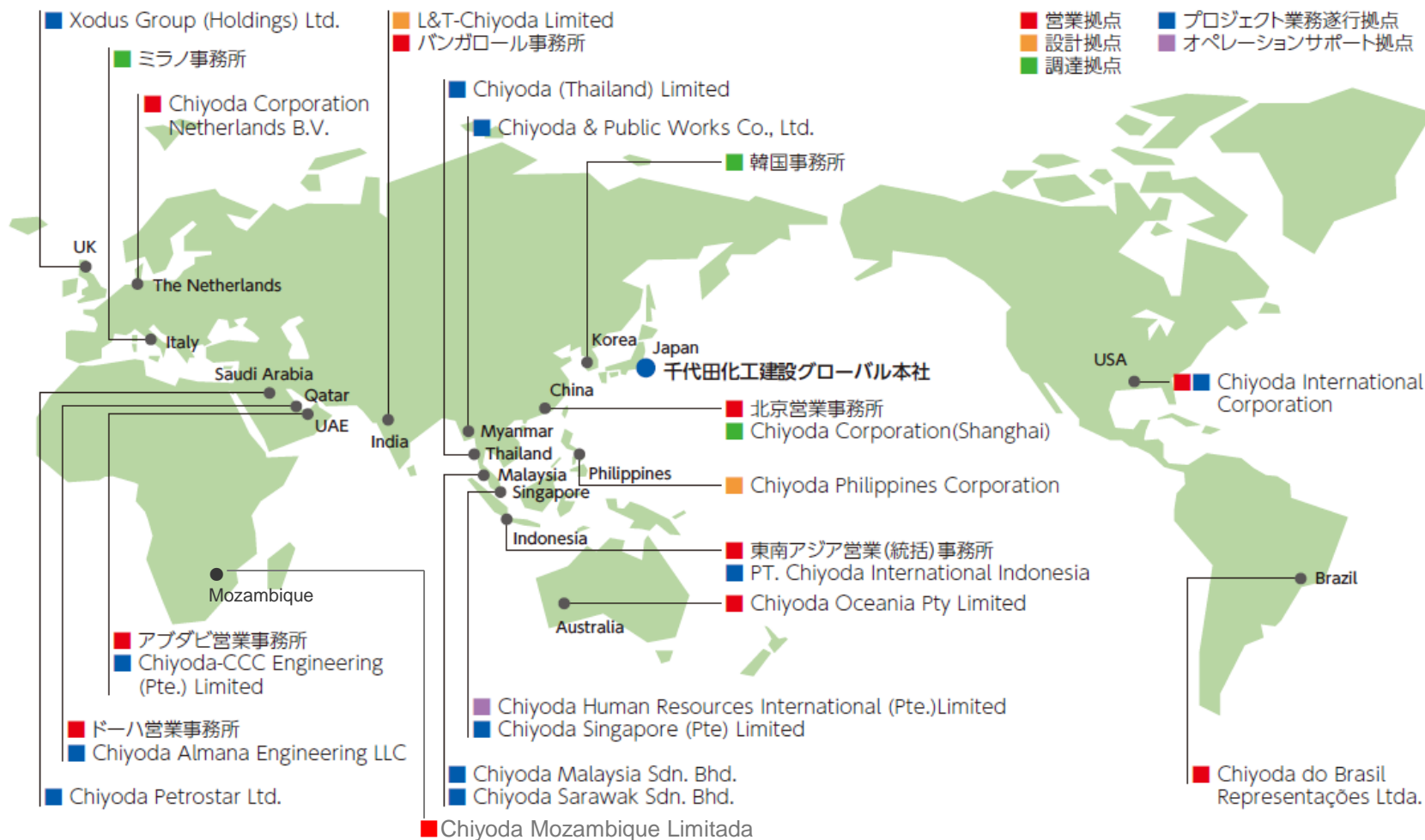
経営の質と透明性を高め、ステークホルダーにより良く応え、法令の遵守やリスク管理機能を強化するために、コンプライアンスユニット、業務監査ユニットを設置。SQEユニット（労働安全衛生・品質マネジメント）とともに経営に直結する内部統制体制を整えています。また、経営管理機能と業務執行機能の分離を進め、取締役会が執行役員の業務執行を監督する執行役員制度を導入し、変化の速い社会・経済状況にスピーディに対応した意思決定を行っています。

- **内部統制システムの強化**

当社グループは、従来実施している内部統制の対応状況についての自己評価および内部統制システム強化のために、日常行う業務とは別に独立した評価を実施する機関として業務監査ユニットを設置。内部統制の全体構造および各構成要素が適切に整備・運用されているかを監査し、経営会議に報告する体制を整えています。

補足 : Overseas Network 海外拠点

世界に広がる千代田のグローバルネットワーク (主要な海外拠点、2015年4月1日現在)



補足：主要な国内グループ企業

(2015年4月1日現在)

エンジニアリング業務

千代田工商株式会社

各種産業用機械設備の設計・建設・メンテナンス、保険業務等

URL:<http://www.cks-ykh.co.jp/>

千代田システムテクノロジーズ株式会社

電気・計装・制御の設計・調達・建設・保全、統合ITシステムのコンサルティング・開発・運用及び社会インフラ設備に係る各種事業

URL:<http://www.cst.chiyoda.co.jp/>

千代田テクノエース株式会社

医薬品・石油施設の土木建築関連工事のコンサルティング、企画、設計、施工、試運転等

URL:<http://www.cta.chiyoda.co.jp/>

千代田ユーテック株式会社

各種産業用機械設備・地域開発等の総合コンサルティング、ISO認証維持のための審査業務、人材派遣業

URL:<http://www.utc-yokohama.com/>

千代田化工建設株式会社 グローバル本社
〒220-8765 横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号
みなとみらいグランドセントラルタワー

本報告に関するお問い合わせ先

IR・広報・CSRセクション

電話: 045-225-7734

FAX: 045-225-4962

E-mail csr@chiyodacorp.com

ビジネスサポート事業

アロー・ビジネス・コンサルティング株式会社

財務・会計・税務に関する総合コンサルティング及び業務受託等

アロー・ヒューマンリソース株式会社

人材派遣事業、職業紹介事業、アウトソーシング事業、教育・研修事業等

URL:<http://www.ahr.co.jp/>

アローヘッド・インターナショナル株式会社

旅行業、航空運送、資材輸出等

URL:<http://www.arrowhead.co.jp/>

千代田ビジネスソリューションズ株式会社

人事総務系のサービス・管理・コンサルティング業務



FTSE4Good



Network Japan
WE SUPPORT

千代田化工建設株式会社はグローバルに認められた企業責任の基準を満たす企業への投資を促進するようデザインされた株式インデックスシリーズであるFTSE4Goodインデックスシリーズの構成銘柄です。

補足：編集方針

・CSR活動報告の方針

当社グループのCSR活動は、Webサイトで報告しています。

Webサイトでは、CSR全般に関連する詳細情報を網羅的に紹介していますが、本報告書は2014年度活動ハイライトをダイジェスト版で報告しています。内容は国内外グループ会社のCSR責任者と協力して、当社グループの経営理念、CSRビジョンの観点から絞り込みを行い編集されたものです。ガバナンスを含む詳細につきましては、以下のWebサイト等も併せて参照願います。

報告対象期間：2014年度(特に注記のない限り2014年4月1日～2015年3月31日が対象)

・Webサイト「CSRへの取り組み」

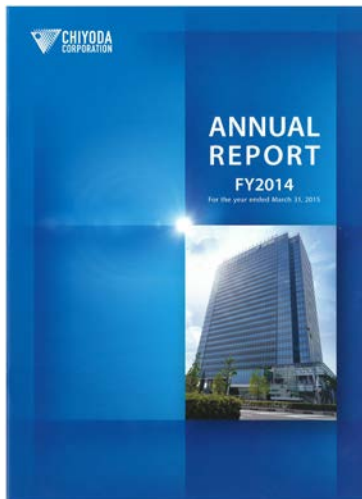
<https://www.chiyoda-corp.com/csr/index.html>

・Webサイト「コーポレートガバナンスポリシー」

https://www.chiyoda-corp.com/company/files/151023_CGP.pdf

・参考「ANNUAL REPORT」

海外の株主や投資家向けに英文で作られた「年次報告書」です。CSR活動についても主なピックアップを紹介しています。



・参考「千代田グループCSRハンドブック」

千代田グループ「経営理念」「CSRヴィジョン」「行動規範」「行動の手引き」などの基本方針を編集したものです。従業員全員に配布しています。

千代田グループのCSR活動

Webサイトに網羅的に報告

CSR報告
(ダイジェスト)
当期の活動
ハイライトを報告